

こさかじょうせき
「小坂城跡」

- 指 定 千曲市指定史跡 平成 27 年 4 月 1 日
- 所 在 地 千曲市大字桑原字城 ほか
- 所 有 者 龍洞院ほか
- 概 要 山城跡 指定面積：35,000 m²
- 時 代 戦国時代 康正年間（1455-1457）～天正 15 年（1587）
- 公 開 いつでも可（龍洞院から上ると約 30 分）

康正年間（1455～1457）の築城とされています。山麓に根小屋を置いた豪族居館型山城で、16 世紀中期以降に軍事的改修がおこなわれ、縄張が複雑になり、石垣積や堀切など大補強がなされた、織豊期（1568～1603）の典型的な山城です。

天正 10 年（1582）の武田氏滅亡、織田信長の自刃に際し、上杉景勝は桑原郷を占拠。小笠原貞慶軍による猿が番場峠や一本松峠への放火など、小笠原軍と上杉軍との戦闘が天正 11 年～12 年にかけて激化する中、景勝により小坂城が軍事的に補強され、その間の繋ぎの城として稻荷山城が築城（天正 12 年（1584）正月～5 月 17 日の間）されます。天正 14 年（1586）、豊臣秀吉により関東奥州諸大名へ戦闘停止命令が下され、翌天正 15 年には小坂城は廃城となります。

